

理事功程

合衆國

二

和書門

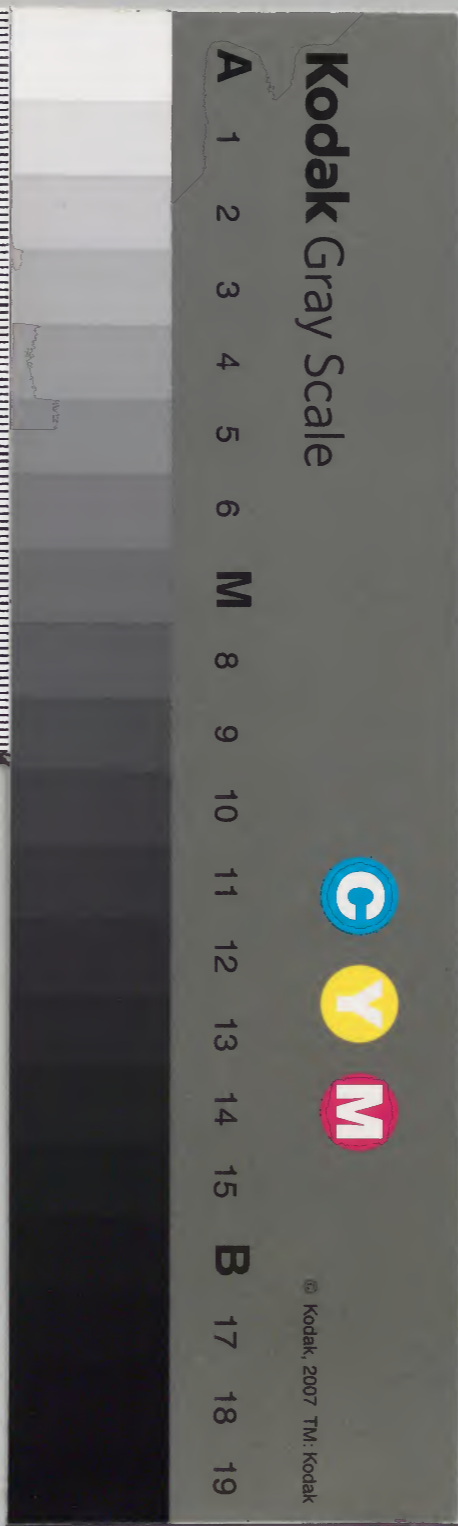
類	二二七二八
號	一三八
函	一
架	八
冊	

內閣文庫

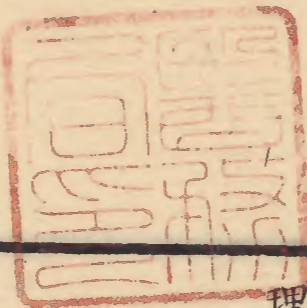
和書	二二七二八
類	一三八
冊	一
架	八

內閣文庫	
番號	和 22728
冊數	8 ( 2 )
函號	186 107

內二二八〇六號







理事功程卷之二目次 內 一 一八〇六號

華盛頓府學校略記 十八年

同府公學規則 十八年

入校ノ事 十八年

課程ノ事 十八年

教官心得ノ事 十八年

生徒心得ノ事 十八年

學課時刻ノ事 十八年

休業ノ事 十八年

夜學校ノ事

理事功程 卷二 目次



試業ノ事

學校建家ノ事

簿冊ノ事

同府公學ニ關涉セル國會ノ布令

可倫比部立法局新令拔萃

收稅ノ新令

加利福尼州學制略記

三方濟各府學事略記

加利福尼州學校統計表七十八年

賓夕瓦尼州學制略記

學務全權ノ事

各郡教育事務ノ事

教育金ノ事

郡邑教育金ノ事

烏達部學制略記

ソールトレキ府學事略記

伊理奈州學制略記

學督ノ事

郡邑教育事務ノ事

教育金ノ事



郡邑教育金ノ事

合衆國學事雜記

合衆國教育事務局官賞

教育調査表

各州部學校統計表

大都府學稅異同表

各州府學督俸金

大學校綜說

堪比日哈發的大學校

神學校

法學校

醫學校



理事功程卷之二

華盛頓府學校略記

華盛頓府學校ヲ設クルノ法人口ノ多少ニ隨テ  
 市中ヲ四大區ニ分チ其内ニ數多ノ公學校ヲ設  
 ケ之ヲ學區ト稱ス而シテ之ヲ總管スル者ハ當  
 府學校事務局ニシテ知府事其局長タリ毎年十  
 月第一月曜日ニ於テ知府事一區内ヨリ博識徳  
 望アル者五人ヲ選舉セシメ之ヲ學校執事ニ命  
 シ一區内ノ學制教官ノ進退及會計等凡テ之ニ  
 委任ス學校ヲ配置スルヲ定數ナク區内童子ノ



多少ニ應ニ便利ノ地ニ於テ百人乃至千二百人ヲ入ルヘキ建家數ヶ所ヲ造營シ童子ヲシテ凡一里以上ノ道路ヲ往來セシメサルヲ以テ目的ト為ス

知府事學校事務局ヲ開カンカ為メ二十人ノ執事俸金ヲ任シタル後會計掛一人歳俸ハ置キ金銀ノ出納ヲ掌ラシメ又書記官一人歳俸ニ置キ學校事務局ノ記録等ヲ掌ラシム其他市中一般ノ學督歳俸二千五百弗ヲ任ス此學督ハ市中諸學校ノ巡視シ二十人ノ執事ト常ニ消息ヲ通シ就

中學校事務局ヨリ示シタル諸規則ノ行否ヲ監スルヲ以テ其主務トス若シ學校事務局集會ノ節知事不參スル時ハ其局長トナリ諸議事ニ參與ス府中都テ二員ニシテ一ハ白人種ノ公學校ヲ管シ當時アルソシナル者之ニ任ス一ハ黑人種ノ公學校ヲ管スル者ニシテコツクト云ル黒人之ニ任ス但シ黑人ノ方ノミヂヨールダウ府ヲ兼管ス之ヲ第五區ト云フニ於テ國法ヲ犯シタル者ヨリ收贖シタル科金





ノ半ト且ツ當府廳ニテ府下人民ヨリ所有品百  
 弗ノ價ニ付き六十「セント」ツ、課シタル者ヲ學  
 税ト名ツケレ其收納高トヲ合シ以テ之ニ充ツ  
 當時ノ集金凡五十万弗ニ至レリ  
 六歳ヨリ十七歳マテノ童児ノ父母又ハ後見人  
 當府下ニ住居スル時ハ其學齡時限中ハ公學校  
 ニ入ルノ權利アレハ大抵五年以上入校スル者  
 少ク多クハ私學校ニ入ル現今府中學齡ノ童子  
 凡二万五千人アリ其内就學スル者ハ一万三千  
 人ナリ

男女同校ニシテ教ヘス或ハ校ヲ同フレテ室ヲ  
 異ニスル者アリ「フランク」ン學校ノ如キ是ナ  
 リ然レハ必ス男女生徒ノ課業時間ヲ異ニシ中  
 休ノ場所ヲ區別スルヲ要トス  
 二十人ノ執事ハ貧生ノ為メ日課書籍ヲ備ヘ置  
 ケリ  
 公學校授業時限ハ一年間十ヶ月但レ九月ヨリ  
 六月ニ至ル  
 府中教員凡二百二十五人アリテ過半ハ女師ナ  
 リ女師ノ歳給五百五十弗乃至千二百弗男師ハ



六百弗乃至千八百弗ニ至ル毎教官生員六十人  
 ヲ教ユ。其ノ中百二十五人ノ中、一等ノ教官  
 當今公學校生徒ノ等級ヲ九等ニ分チ一級ヲ進  
 ムニ一ケ年ノ勉強ヲ要ス。其ノ中、國語、算術、書法、算術、畫術、音樂、英文典、合衆  
國歷史、地理書、代數學、理學、植物學、生理學等ナリ。  
 生徒試業ノ上優等ノモノハ昇級セシメ教官ヲ  
 換ユ。其ノ中、國語、算術、書法、算術、畫術、音樂、英文典、合衆  
 千八百七十一年市中動物不動産共私有品ノ價  
 六十二百四十七万六千。九十八弗ニシテ學稅

ハ二十四万四千二百四十弗八十四「セントナリ」  
 同年ノ學校歳費三十七万三千五百三十五弗三  
 十五「セント」之ヲ生徒一人ニ割ル時ハ二十三弗  
 八十八「セント」ニシテ内十四弗七十「セント」ハ教  
 授料ニシテ九弗十八「セント」ハ臨時費ニ當レリ。  
 當府人口十萬九千九百九十九人内三萬一千三百  
 九十七人ハ黑人種トス而メ白種生徒入校スル  
 者一萬二千二百ニシテ黒種生徒ハ凡四千人ナ  
 リ。其ノ中、國語、算術、書法、算術、畫術、音樂、英文典、合衆  
 當府ハ人口ノ數ニ比スレハ私有品稅ノ高少シ





トス如何トナレハ人負凡三分ノ一ハ政府士官  
等ニシテ一時寄留ノ者多キカ故ナリ

一区内ニ毎年四ヶ月ノ間續テ一ノ夜學校ヲ開  
ク

市中男子ノ語學校四ヶ所アリ其教頭ノ歲給千  
六百弗乃至千八百弗又女子ノ為ニ設クル者四  
ヶ所其教頭ノ歲給千弗乃至千二百弗總教官ノ  
俸金合テ十万弗餘ニ至ル

市中最大ノ小學校ヲ「フランクリン」學校ト称ス  
構内地面一萬五  
千四百方ト白種生徒ノ為メニ設クル者ニ

シテ講室十四アリ千八百六十九年之ヲ建築ス  
土木ノ費用十八萬八千弗器具ノ價ハ八千弗ナ  
リ之ニ次ク者ハ「セント」學校ニシテ室ヲ具ス  
ル十箇室内中二十七尺長四十尺其入費器具ヲ合算シテ共  
ニ六萬四千五百七十六弗トスシ「ト」ハ舊知  
府事ノ名誰ク教育ニ盡カセシヲ以テ校名ニ存  
シ永ク其餘榮ヲ傳フト云フ

華威頓府公學規則

入校ノ事

第一條



凡テ六歳ヨリ十六歳ニ至ル白背童子ノ父母當  
府下住民タル時ハ其區内ニ於テ檢査ヲ經相當  
ノ公學校ニ入ルコトヲ得ヘシ

第二條

始テ入學ヲ願フ者ハ願書ヲ其住居スル區内ノ  
學校執事ニ出スヘシ執事ハ其許可スヘキヤ否  
ヤヲ裁決シ若シ差支ナキ生徒ナラハ同區内ニ  
於テ其生徒ニ適當スヘキ學校ノ教官ニ名充シ  
タル短冊ヲ渡スヘシ總テ入門ノ順序ハ教官短  
冊ヲ落手スル前後ヲ以テ定ムヘシ

第三條

學季ノ始メ開校ノ時ニ於テハ左ノ手續キラ以  
ノ入校ヲ許スヘシ  
第一 前季ノ終リマテ出席シテ開校ノ初日  
朝十二時前ニ上校スル生徒  
第二 従来名簿中ニ列スル生徒順序ヲ經彼  
校ヨリ此校ニ轉學スル者  
第三 順序ヲ以テ短冊ヲ持參スル生徒  
若シ開校ノ日ニ當テ疾病又ハ事故  
アリテ不得已不參スル時ハ十二時



マテニ教官ハ其情實ヲ告知スルト  
キハ開校後五日ノ間ハ仍其坐席ヲ  
設置クヘシ

第四條

下等學校生徒ヲ上等學校ニ轉學セシムルト格  
別ノ場合ヲ除クノ外必ス九月第一週日ニ限ル  
ヘシ生徒ノ昇級ハ出席行狀及進業ニ於テ全備  
スルニ非レハ許ス可ラス

第五條

每局ノ生徒六十人以上ニ過ク可ラス

第六條

諸生徒轉學切手ヲ持參スルカ或ハ他ノ學校ニ  
轉進スベキ褒美ノ證書アルカ若クハ他ノ公學  
校ヲ退クヘキ十分ノ理アルカニ非レハ他ノ公  
學校ヨリ轉シ來ル生徒ヲ何レノ公學校ニ於テ  
モ入校ヲ許ス可ラス又各區内學校事務下局執  
事ヨリ書附ニテ免許アルニ非レハ此區ノ學校  
ヨリ彼區ノ學校ニ轉ス可ラス

第七條

課程ノ事



各校共毎朝稽古始ニハ教官聖書ノ一部分ヲ註解ナレニ誦讀レテ諸生徒各添歌ヲ唱フヘシ

第八條

諸學校共ウリストル字典ヲ用ユヘレ月ノ末

第九條

諸學校共左ニ記載レタル課目素讀本ヲ用ヒ決シテ他ノ書ヲ用ユヘカラス又等級ニ依リ定限セシ書籍ノ外一切用ユヘカラス

書目

之略

教官心得ノ事

第十條

語學校教官ハ年齡廿一歳以下ナルハカラス<sup>ラ</sup>イマリ<sup>初</sup>等<sup>セ</sup>コニダリ<sup>中</sup>及<sup>イ</sup>ントルメヂ<sup>上</sup>エ<sup>ト</sup>等<sup>ノ</sup>小學校教官ハ十八歳以下ナル可ラス教官助ハ十六歳以下ナル可ラス

第十一條

始テ教官ニ任セラレハ者ハ學季ノ残り時間ヲ以テ奉職時限トスヘレ而シテ此官ハ必ス教官取扱掛ノ證書ヲ所持シ從來教官助手ヲ勤メタル者ニ非レハ任セラレ<sup>ル</sup>得ス教官ノ分課ハ



學校事務局ノ措置ヲ以テ何等ノ學校ヲ請持或  
 ハ何時ニテモ轉校セシムルコトアルヘシ  
 第十二條  
 諸教官退職ヲ請フハ遅クモ一ヶ月前ニ書面  
 ヲ以テ學校事務局ニ稟出スヘシ若シ故ナク  
 俄ニ退職スルトキハ事務局ヨリ拂フヘキ俸金  
 等ハ之ヲ罰金ニ充テ收取スヘシ  
 第十三條  
 諸教官毎日ノ課業時限ニハ少クモ十五分前ニ  
 必ス參校スヘシ若シ遅刻スルトアレハ月報録

ニ記シ其因由ヲ開申スヘシ  
 第十四條  
 諸教官ハ學校事務局ノ書付ニテノ免許アル  
 ニ非レハ開校季限中安リニ不參ス可ラス尤疾  
 病又ハ家族ノ内傳染病ニ罹ル者アラハ格別ト  
 ス其節ハ直ニ其旨ヲ報告スヘシ  
 第十五條  
 諸教官各皆簿冊ヲ用意スヘシ又事務局ノ需メ  
 ニ應シ公報書ヲ製スヘシ是等ノ規則ヲ充分ニ  
 遵奉スルニ非ニハ其官給ヲ得可ラス再選ニモ





當ル可ラス毎年季ノ末生徒試業ノ後ニハ生徒  
名簿ヲ精細ニ編製シ諸簿冊ト共ニ之ヲ學督局  
ニ納ムヘシ

第十六條

文房具罫紙其他公學校ニ用ユベキ要用ノ物件  
ハ教官ノ請求ニ依リ事務下局官員承允ノ上會  
計方ニテ之ヲ調フヘシ

第十七條

教官ハ生徒體質上ノ教育ニ注意シテ其安慰ヲ  
保護スヘシ室内空氣ノ變換溫度ノ高低等ハ尤

注意スヘキモノニシテ室内ノ溫度常ニ六十八  
度以上ニ昇ラサル様心掛ケヘシ

第十八條

課業時間中講堂ニ於テ新聞紙類ヲ讀ミ五分時  
以上他ノ教官又ハ外人ト對話スルヲ禁シ校内  
ニ於テ烟草ヲ喫スルヲ禁ス

第十九條

諸教官ハ生徒ヲ温和ニ教導シ可成大打擲等ノ  
嚴戒ヲ加ヘス生徒ヲシテ柔順ナラシムルニ肝  
要ナリ





第二十條

諸教官ハ毎朝教場ヲ開カサル前ニ校内所々ニ生徒ノ群集スルヲ禁スヘシ放課ノ間ハ各其室内ヲ監守シ課業ヲ終レハ生徒ヲシテ速ニ學校近傍ヲ退散セシメ自己退出ノ時毎ニ戸障子ハ能ク閉鎖シテアルヤ否ヲ視察スヘシ

第二十一條

諸教官ハ課業時限中至要ナル校務ヲ除クノ外自己ニ属スル生徒ヲ使事ニ送ル可ラス

第二十二條

教官又ハ誰ニテモ學校事務本局又ハ下局ニテ准シタル物品ノ外官物ヲ生徒ニ施與スルヲ許サス且ツ本局ニテ定メタル褒賞品ノ負數ハ下局ニテ増ス可ラス

第二十三條

何等ノ目的ヲ問ハス公學校ノ為ニ醵金等ヲ紹介スヘカラス又事務下局ノ許可無レテ布令書類ヲ生徒ニ讀マシメ若クハ之ヲ校内障壁近傍ニ置ク可ラス

第二十四條





各校ノ教官ハ學校執事校内巡視便利ノ為ニ一週間中ノ日課時限表ヲ掲ケ置クヘシ

第二十五條

諸教官ハ生徒ニ多ク實地稽古ヲ授ケンカ為メ盤板ヲ用ヒ生徒ヲシテ同一ノ場所ニ久ク坐セシメス屢稽古ノ仕方ヲ異ニシテ宜ク生徒ヲシテ倦マサラシムヘシ

第二十六條

各校ノ教官ハ學校器具其他所屬ノ物品ヲ大切ニ取扱ヒ及ヒ生徒ノ行狀且事務本局及下局ヨ

リ示シタル諸規則ノ舉ルヲ責任スヘシ

第二十七條

教官助手ハ己レ平日生徒タル所ノ語學校教官若レ一時不參スルヲアレハ學校事務下局ノ指揮ニ從テ簿冊類ヲ引受ク之ニ代リテ課業ヲ授ケ或ハ他ノ勤向ヲモ務ムルヲ本官同様タルヘシ

第二十八條

教官ハ校内諸規則ヲ身親ラ遵奉シ就中自己ノ職務ニ管係スル條々ヲ信實ニ守ンヲ要ス





生徒心得ノ事  
 第二十九條  
 諸生徒在校ノ時ハ勿論學校出入ノ節モ順序正  
 ク舉動ヲ適宜ニシ身體及衣服ヲ清潔ニシ書籍  
 ヲ大切ニ所持シ文房内ノ物品ヲ奇麗ニ飾リ付  
 ケ教場ニ出入スルキハ威儀ヲ正シテ雜亂セス  
 退散ノ時ハ速カニ學校近所ヲ立去ル等ノ數件  
 ニ注意スルヲ尤緊要ナリ  
 第三十條  
 諸生徒ノ禁スヘキハ筆紙其外何品ニテモ床

上ニ抛ツト勿レ建物ニ疵ヲ付ケ又ハ樂書スル  
 ト勿レ校内ニ於テ烟草ヲ用ルト勿レ小刀ヲ用  
 ルト勿レ躍ルト勿レ不正ノ言語ヲ用ルト勿レ  
 人ノ異名ヲ呼フト勿レ瓦石或ハ彈丸類ヲ抛ツ  
 ト勿レ他人ヲ妨ルト勿レ學校近鄰ヲ騷カスト  
 勿レ  
 第三十一條  
 數規則ヲ破ルト屢々席シ或ハ遲刻スルト身持  
 不正ナルト及ヒ兩親又ハ後見人必用ノ課程書  
 ヲ支給セサルハ確乎タル條理アルニ非ザルト



ハ其生徒ヲ退學セシムルニ十分ノ理アリトス  
第三十二條  
疾病又ハ家内ニ傳染病ニ罹ル者アラステ四  
日半以上欠席スルキハ其教官四日半過テ後其  
旨ヲ學校執事ニ報告シ執事ヨリ書付ヲ以テ承  
諾アルキハ生徒ノ坐席ヲ取除クヘシ又二日半  
以上缺席スル生徒アラハ直ニ其事ヲ兩親ニ報  
知スヘシ

第三十三條

事故アリテ引續キ學校日數休日ノ外ヲ云五日以上缺

席スル生徒ノ坐席ハ則チ取除ノ標ヲ附リヘシ  
尤不快又ハ家内ニ傳染病ニ罹ル者アリテ學校  
執事ヨリ書付ニテノ許容アルキハ學校日數廿  
日ノ間ハ其坐席ヲ設ケ置クモノナレハ其日限  
中ハ何時ニテモ學校執事ヨリノ入學切手無ク  
ノ再ヒ入校スヘシ是等ノ生徒ハ切手ヲ以テ入  
學シタル生徒同様ニ見做レ公報書ニ之ヲ加ヘ  
亦書記簿ニモ切手ヲ以テ再入シタル生徒同法  
ニ記入スベシ二十日以上ヲ過キ切手ヲ持参シ  
テ入學ヲ願フキハ多人數ノ中ヨリ選擇ノ取扱





ニナスヘシ

第三十四條

一旦退學ノ故ヲ以テ不參スル生徒ハ日記ニ記  
スヘカラス亦公報書ヲ作ルトキ日々缺席ノ平  
均數ニモ加フヘカラス

第三十五條

生徒若シ不參或ハ遲刺スルトキハ父母又ハ後  
見人ヨリ其因故ヲ詳述シタル斷書ヲ出スヘシ  
生徒登校ノ上ハ急病又ハ意外ノ出来事アルニ  
非レハ退散制限前ニ退校スルヲ許サス若シ許

ス可キ事件アルハ教官其實否ヲ查定シテ之ヲ  
許シ簿冊ニ書留メ學校季限ノ終ルマテ備エ置  
クヘシ

第三十六條

諸生徒私宅ニ在ル時モ相應ノ先進生徒ニ就テ  
少クノ稽古ヲ為スヘシ

第三十七條

諸生徒若シ官負ノ命ニ從ハサルアラハ先以  
テ教官ヨリ來學ヲ止メ直ニ其趣ヲ兩親及學校  
事務下局ニ通達スヘシ其後五日內ニ下局ヨリ





呼戻シノ報知ナキハ全ク放學ト心得ヘシ然  
 而之ヲ年々ノ注名録ニ記スヘシ  
 第三十八條  
 生徒ノ両親又ハ後見人貧困ナルトキハ事務下  
 局ニテ定メタル體裁ニ從ヒ願書ヲ認メ受持教  
 官及下局官員二名ノ檢印ヲ以テ日課書籍ヲ借  
 ルヲ得ヘシ但何時ニテモ其學校ヲ離ル、キ  
 ハ必ス返納スヘシ如シ返濟セサルヲ以テ教官  
 其事實ヲ下局ニ報知スルキハ其生徒ハ當府中  
 何レノ公學校ニモ再入スルヲ許サス

第三十九條

定限外格段ノ學科ヲ修ムル生徒ハ學校事務下  
 局ノ許可ヲ得シテ學校季限中ニ其格段ノ科  
 業ヲ中絶スルヲ許サス此等ノ生徒ハ諸事教官  
 ノ指揮ヲ受クヘシ  
 第四十條  
 語學校及小學校生徒ハ毎月ノ月旦評ニ賞點ヲ  
 受ル左ノ如シ  
 第一一ヶ月皆席ノ賞點第二身持ノ賞點第三  
 一科ノ聽講ニテ二ヶ以下ノ罰點第四諸科合



算シテ十ヶ以下ノ罰點是ナリ  
十ヶ以下ノ罰點モ他ヨリ少  
則キヲ示スモフニテ  
賞點ノ意ナリ

學課時刻ノ事

第四十一條

諸學校共毎朝正九時ニ開キ午後三時ニ閉ツベ  
シ其内十時ヨリ十五分時間十二時ヨリ六十分  
時間ヲ放課時間トス

第四十二條

下等小學校ニ於テハ各級ノ教官其生徒ニ一个  
ノ課程ヲ終ル毎ニ五分時ヨリ多カラサル少懃

ヲ許スヘシ

第四十三條

學校事務下局ヨリ格別ノ許可アルニ非レハ學  
校時限ヲ漫リニ變改スヘカラス

休業ノ事

第四十四條

一年中休暇ヲ許ス左ノ如シ

第一 日曜日

第二 毎年六月三十日ヨリ九月第一月曜日

ニ至ル但九月第一月曜日ヲ以テ學季





ノ始トス

第三 二月廿二日 華盛頓 誕生日

第四 グードフライデー及イーストルモン

第五 禮謝祭日 願成就日

第六 教祖誕生キリスト日ヨリ一月一日ニ至ル

第四十五條

其他ノ休日ハ教官ノ願書ニ依リ學校事務下局ニ負ノ書付ニアテ許可アルニ非レハ許ス可ラス  
夜學校ノ事

第四十六條

夜學校ハ殊ニ之ノ要用トスル区内ニ於テ十月半ヨリ續テ四ヶ月ノ間開クヘシ課業時限ハ毎日午後七時ヨリ始メ二時間ニシテ終ル

第四十七條

夜學校教官ハ諸簿冊ヲ所持シ或ハ公報書ヲ呈スルヲ日學校教官同様タルヘシ

試業ノ事

第四十八條

諸學校試業ハ毎年學季ノ終末ニ於テ學校事務



本局ノ命ニ從ヒ之ヲ催スヘシ諸生徒故ナク此  
試業ヲ欠クトキハ書面ヲ以テ事務下局ニ公報  
シ退學セシムヘシ

學校建家ノ事

第四十九條

學校執事ハ市民私有品ノ多寡ニ應シ金ヲ課シ  
適宜ニ校費ニ供ヒシムルヲ其任トスヘシ市中  
ノ公有タル學校建家ハ立法局ノ許可ヲ經サレ  
ハ他ノ所有ニ供ス可ラス

簿冊ノ事

第五十條

學校事務局ノ諸官員及諸教官ハ事務局ニテ制  
定シタル體裁ニ從ヒ諸簿冊ヲ製スヘシ其製法  
ハ一篇ノ規則ヲナセハ別ニ之ヲ記ス  
華盛頓府公學ニ關涉セル國會ノ布令千八百七  
十年以前ノ布告ニ  
テ令猶施行セリ  
住民ノ權 華盛頓府下住民ハ公學校ヲ建築シ  
公學校ヲ總監シ學校ヲ共立シ公學校ノ為メニ  
租稅ヲ取立或ハ二十一歳以上白哲男子ノ府民  
ヨリ年々一弗以上ノ學稅ヲ收メシムルノ權ヲ





リ是等ノ税ト他ノ法ニテ取立タル普通學校ノ  
建築及ヒ支給用金トテ合シテ公學校積金ト為  
スナリ  
收贖金 可倫比部内ニ於テ合衆國律法ヲ犯シ  
タル者ヨリ收贖シタル科金ノ四分一ヲ以テ三  
ケ月毎ニ華盛頓郡小學理事官ニ渡レ又四分一  
ヲデヨールダウニノ知府事ニ渡レ其四分ノ  
ニヲ以テ華盛頓府知事ニ渡レ以テ教育費用ト  
為スヘレ  
附リ是等ノ積金ハ白人種黑人種共ニ六歳ヨ

滿リ十七歳ニ至ル童兒ノ員數ニ比準シテ齊ク  
其用ニ供スヘシ知府事ハ黑種童子ノ員ニ應  
ジテ割リ渡スヘキ金數ヲ黑人學校執事ニ悉  
皆委託スヘシ  
黑人種學校執事 トロンチリス 黑種童兒教育ノ為ニ設ケタ  
ル黑人學校事務局ハ黑人教育ノ為ニ取立タル  
税金或ハ寄附金等ノ積金ヲ支配シ其他黑人學  
校中ニ於テ猶當時白人學校執事ノ白人學校ニ  
於ルカ如キ權威職務ヲ保有スル同一ナルヘ  
シ執事職員三名内一名ハ毎年六月一日内務卿





之ヲ任シ在職三年ヲ以テ限トス若シ欠負スル  
トアレハ同例ヲ以テ之ヲ補フヘシ  
積金 華威頓及デヨートルヂタウンノ二府ハ學  
校地所家屋器具書籍其他學校總歲費ノ為ニ費  
スヘキ金高ヲ以テ各府白黒兩種六歳ヨリ十七  
歳ニ至ル童幼ノ負數ニ比シ黒種童幼ノ人負ニ  
比準スヘキ割合ノ金數ヲ黒人學校執事ニ拂フ  
ヘシ其期限ハ毎年十月一日トス若シ之ヲ延引  
スルトキハ一年一割ノ利息ヲ拂ハサルヲ得ス  
無理押ノ入學 凡主宰タルモノ男女ヲ問ハス

六歳ヨリ十七歳ニ至ル童幼アリテ可倫比部内  
ニ住居スル時ハ年々少クトモ十二週間其内六  
週ハ引續テ童幼ヲ其区内ノ公學校ニ入ラシム  
ヘシ若シ是等ノ職分ヲ怠ル者ハ二十弗ヲ越ヘ  
ザル罰金ヲ收贖シ其区内ノ費用ニ供スヘシ  
附リ若シ家主事故アリテ其兒ヲ入學セシム  
ル能ハサル歟或ハ本文示ス處ノ時間他ノ學  
校ニ入學セシメタル歟又ハ痼疾等アリテ勤  
學ニ不適當ナルキハ必スレモ罰金ヲ取ル可  
ラス故ニ學校執事ハ如斯童子ノ入學セサル



因故ヲ推究シ必ス入校ヲ促スト罰金ヲ取ル  
トニ於テ良善ノ方法ヲ施設スヘシ  
種痘 學校執事ハ相應ノ種痘ヲ為シタル乎或  
ハ他ニ疔瘡ノ豫防アル生徒ニ非シハ入學ヲ許  
ス可ラス

租稅 華盛頓府デヨールヂタウン府及華盛頓  
郡ノ收稅局ハ學校建築及公學保護ノ為一ケ年  
百弗私有品ノニ付五十セントニ越エサル別稅  
ヲ課スルノ權アリ  
寄附 西二十一番町ト北I町ノ東南角ニ在ル

一 建家ヲ公學校所用ニ充テ之ヲ華盛頓府ニ寄  
進ス  
可倫比部知事ハ華盛頓府デヨールヂタウン府  
及華盛頓郡ノ為ニ各一員ノ學督ヲ命スヘシ而

シテ各府ニテ制立シタル公學校諸法則ハ其管  
内地方ニ充分施行スヘシト雖モ可倫比部立法  
局ノ諸法律ト相抵觸スルコトナカルヘシ  
附リヂヨールヂタウン府及華盛頓郡ノ學督  
公學校書記官及會計方ハ華盛頓府ノ同僚ト



同ク職務ヲ勤メ同ク規則ヲ守ルヘシ  
 前條ニ記載レタル諸官員ノ歲俸ヲ示ス左ノ如  
 華盛頓府學督二千弗、デヨールデタウン府學督  
 一千弗、華盛頓郡學督一千弗、華盛頓府會計方八  
 百弗、デヨールデタウン府會計方及書記五百弗、  
 華盛頓都會計方及書記五百弗、華盛頓府書記二  
 百弗、  
 此布令中ニ支障ナクンハ給料ハ月毎ニ拂フヘ  
 シ

各官員ノ補助金ハ在職年限ノ終ニ於テ拂フベ  
 シ  
 收税ノ新令  
 千八百七十二年可倫比部政府ヲ保護セシカ為  
 メ人民私有品ニ租税ヲ課スル左ノ如シ  
 華盛頓府下住民ノ租税ヲ課スヘキ私有品ヨリ  
 百弗ノ價ニツキ雜税一弗七十セントツ、デヨ  
 ールデタウン府住民ヨリ同上ノ價ニ付九十五  
 セント、華盛頓郡住民ヨリ同上ノ價ニ付八十五  
 セントツ、ヲ出サシム





前條ノ如ク收納シタル高ヲ配分スルノ左ノ如

華盛頓府

可倫比部積金

市街カス燈

市中取締

公學校費用及學校建築費六十セント

府下負債ノ償却用

チヨールチタウン府

可倫比部積金

市街カス燈

市中取締

學校費用

華盛頓郡

可倫比部積金

市中取締

學校費用

千八百七十一年八月廿三日之ヲ許可ス

加利福尼亞州學制略記

加利福尼亞州ハ合衆國中最モ新近ノ開拓地ニシ



五事 五事 五事

テ人烟稀疎實ニ蒼莽ノ一僻地ニ過キス然レモ  
下等教育ノ行き届キタルハ北部諸州ニ讓ラ  
サルハシ其法制ハ各州ノ法ヲ折衷シテ設ル者  
ナレハ其簡便ニシテ全備セルヲ恐クハ東北諸  
州ニ優ルナルベシ令學制ノ概略ヲ掲クル左ノ  
如シ

加利福尼州政府ハ加利福尼州學督一名ヲ選舉  
スヘシ但シ在職四年ヲ以テ期限トス

加利福尼州會ハ加利福尼州知事及學督加利福  
尼州師範學校教頭<sup>三方濟各府學督各郡學督及</sup>

教官二名ヲ合テ教育事務局ヲ設クヘシ  
加利福尼州學督ハ諸學校ヲ巡視シ公學費用ヲ  
各區各郡各府ニ齊ク分與シ諸學校ノ情形ト學  
則トヲ毎年州會ニ公報スヘシ  
各郡ノ學督ハ在職期限二年ニシテ一郡内ノ學  
務ヲ監ス此學督ハ教育事務局ト諸學校トノ間  
ニ在テ双方ノ氣脉ヲ通シ年々諸學校ノ事情ヲ  
州ノ學督ニ公報スヘシ各郡各府各縣ハ各其學  
區ヲ分置スルノ權アリ  
各區ノ戶籍長ハ毎年十五歳以下ナル童兒ノ人

里事力程 卷二 二五 教育部



別帳ヲ出スヘシ但白哲、黒種、紅苗男女等ノ區別  
 ヲ明細ニ分ツヲ要ス  
 黒種、紅苗、蒙古種ノ童児ハ各區學校執事ノ集議  
 ヲ經タル上白哲人中ニテ拒ム者ナキキハ白人  
 學校ニ出席スルヲ許スヘシ  
 黒種、紅苗、蒙古種ノ父母或ハ後見人其子弟教育  
 ノ為メ別ニ學校ヲ立ン<sub>ト</sub>ヲ願フトキハ其區ノ  
 學校事務局ニテ之ヲ許可スヘシ  
 加利福尼亞州學督ハ教育事務ニ關セル有用ノ日  
 誌類ヲ上梓シテ之ヲ各郡各府ノ學督各區ノ録

事及學校附属ノ文庫司ニ領ツヘシ  
 教授人免許ノ證書ハ加利福尼亞州教官吟味局ニ  
 テ學督及學士四名立會吟味ヲ以テ之ヲ與スヘ  
 シ但免許年限ハ一年二年四年六年生涯ト區別  
 ヲ立ツヘシ  
 各郡各府學督ノ吟味ニテ與ヘタル證書ハ其管  
 内ニ限リ通行スヘシ  
 公學校ヲ保護スル費用ヲ取立ルハ第一ニ加利  
 福尼亞州一般ノ物品稅百弗ノ價ニ付ハ<sub>レ</sub>セント<sub>ト</sub>ヲ學  
 稅トス、第二ニ各郡私有品稅一弗ニ付三十五<sub>セ</sub>





王言政科 卷二

部

ニトテ超エスシテ五歳ヨリ十五歳ニ至ル童兒  
一人ニ付三弗ヨリ少カラサル高テ學稅トス第  
三ニ区内ノ私有稅区内住民ノ集議ヲ以テ其定  
額ヲ決ス但私有品稅ノ價一弗ニ付三十五<sup>レ</sup>セン  
トテ越スヘカラス第四ニハ諸學校配當ノ積金  
ナリ

其他ノ費用ハ合衆國議事院ノ議定ニ依テ始テ  
聯合ノ一ニ加ハル新州ノ學費ニ附與セル五十  
万坪ノ地所代金ナリ  
三方濟各府學事略記

三方濟各府ハ公學ヲ設クル為ニ全府ヲ十區ニ  
分チ各區ノ人負ニ應シテ學校ヲ開ク當時普通  
學校ノ數四十四ヶ所アリテ其内中學校二アリ  
一ハ男子校ニシテ一ハ女子校ナリ府中公學教  
官三百二十六名五歳ヨリ十五歳ニ至ル童兒二  
万五千七百八十五人内入校スル者一万九千八  
百八十五人教官一人ニ生徒ノ比例數左ノ如シ  
中學校生徒ハ、イ、ス、二十五人  
語學校生徒ス、ク、ラ、マ、ル、四十人  
小學校生徒、プ、ラ、イ、マ、ル、五十六人

里高力定 卷二 三十七



府中人口十四万九千四百七十三人ニシテ所有  
品ノ價九千五百万弗ナリ  
市中稅收納高二百六十五万七千九百四十六弗  
。ハ「セント」  
學校歲入四十五万九千八百五十三弗七十「セ」  
ト但私有品ノ價百弗ニ付四十「セント」ヲ學稅ト  
ス  
市中最大ナル男子語學校ヲ「リ」ン「コ」ル「シ」學校ト  
稱ス生員一千餘人アリ之ヲ二十一部ニ分テ每  
部ニ教官一名ヲ附ス每部ノ生徒凡五十六名ヲ

定限トス教官二十一名其内二人男師ニシテ其  
餘ハ悉ク女師ナリ男師月給各百二十五弗女師  
ハ下五十弗ヨリ上八十三弗ニ至ル其多寡ハ勤  
功ノ長短ニ由テ同カラス凡女教官ヲ推舉スル  
ニ最初一年ハ月給五十弗ヲ與ヘ其學カト勤功  
トニ由テ年々五弗或ハ十弗ヲ増シ終ニ百弗ニ  
至ルモノアリ男師ノ内一人ハ教頭ナリ給料百  
七十五弗官員給俸ノ外別ニ一定ノ費用ナシ唯  
諸雜費用一ケ年凡三千弗ヲ備フルトキハ有餘  
アルヘシ尤會計ノ事ハ教頭ト雖モ與リ知ラス





全ノ市中學校事務局ノ所管ニシテ各校定額金  
 ナシ故ニ學校ノ都合ニ依テ年々出納ニ多寡ヲ  
 生ス教官ノ外學丁二人アリ校中ノ灑掃裝置等  
 フ掌ル月給各六十弗當校ハ一千八百六十五年  
 ノ建築ニシテ入費十萬弗前年少々火災ニ罹リ  
 暫ク休校セシニ今又修覆ヲ加ヘ新ニ開校スト  
 云フ

女子ノ為ニ設ケタル語學校ヲ「デシマシ」人名學校  
 ト稱ス千八百六十四年ノ落成ニシテ土木費用  
 器具ヲ合セ共ニ七萬八千弗ニシテ生徒六百名

ヲ入ルヘシ

加利福尼州學校統計表 千八百七十年

加利福尼州幅員十八萬八千九百八十一里 五十郡ニ

人口五十六萬。二百四十七人

五歳ヨリ十五歳ニ至ル學齡童兒十一萬二千七百五十三人

就學ニタル童子七萬三千七百五十三人

不就學童兒二萬五千四百六十四人

學區ノ數一千三百五十四





公學校一千四百廿五ヶ所

公學教官一千六百八十七人

内男師七百廿六人  
女師九百六十一人

男師一人ニテ月給ノ平均數八十一弗三十三セ

ント

女師一人ニテ月給ノ平均數六十二弗八十一セ

ント

私學校生徒一万六千二百七十三人

學費歳入一百三十四万八千二百六十七弗六十

六セントニシテ内一百二十三万六千八百九十

四弗九十四セントヲ學税ノ集高トス

同歳出一百二十九万。五百八十五弗五十二セ

ントナリ之ヲ平常非常ノ二様ニ分ツ

平常費用一百。五万三千二百二十一弗一十

八セントニシテ教官給料八十七万三千八百

十四弗。七セントナリ其餘十七万九千四百

。七弗十一セントヲ炭薪等ノ費トス

非常費用二十三万七千三百六十四弗三十四

セント内二十万五千七百六十六弗九十五セ

ントハ土木費用ニシテ其餘ハ書籍器械等ノ

費用ナリ



諸學校所有品ノ價二百七十九万六千三百。四  
 弗五十六「セント」ニシテ此内  
 建家二百七十万。六千三百。四弗五十六「セ  
 ント」  
 文庫五万七千八百九十五弗七十五「セント」  
 装置二万二千五百。四弗八十九「セント」  
 賓夕瓦<sup>ペンシルバニア</sup>州學制略記  
 學務全權ノ事  
 當州知事議員ノ協議ニヨリテ學務全權ヲ命シ  
 之ヲシテ諸務ヲ掌ラシム但シ年限三ケ年ヲ期

ス後右期限内タリトモ急情過失等アルニ至  
 リテハ知事之ヲ黜ルノ權アリ右職掌ノ第一ハ  
 諸學校長官及ヒ書記會計諸官等ノ間ニ起レル  
 諸件ヲ裁斷スヘシ第二ハ州内教育ニ關セル要  
 用ノ百事ヲ簿書シ或ハ一般ノ教育ニ欠クヘカ  
 ラサル事件アルニ當テハ說話或ハ書翰ヲ以テ  
 各地ノ學校長官ニ通告スヘシ第三ハ各地ノ教  
 育諸官ノ怠惰過失アルニ當テハ之ヲ處置シ又  
 自己疾病等ニテ關務ノ節ハ假リニ代員ヲ選舉  
 シ諸學校ノ課表ヲ吟味シ教育金ノ出納ヲ檢査





レ學校地所ヲ選ニ建家造築ヲ命スル等然テ是  
ナリ  
各郡教育事務ノ事  
本州各郡ノ政府ニテモ亦大ニ教育ニ注意シ郡  
内各地區長ノ選舉ヲ以テ教育長官ヲ命シ在職  
三ケ年ヲ期シ郡内大小ノ學校ヲ管轄セシム但  
シ篤實温良ノ人ニシテ大學校課程ヲモ卒業シ  
殊更ニ講授等ニ慣熟シテ學督ヨリノ證書ヲ持  
スルモノニアラザレハ此選ニ當ルヲ得ス  
右教育長官ノ職務ハ諸學校ノ巡監シ教則等ニ

注意シ教官ノ學カヲ試ニ行狀ヲ察シ怠惰過失ノ  
者アレハ之ヲ區長局ニ調出スヘシ尤モ教育ニ  
肝要ナル大小學校ノ諸務ノ如キハ細カニ之ヲ  
簿書シ毎年學督ニ呈送スヘシ或ハ臨時學制ヲ  
吟味セン為メ諸教官ヲ集會スルヲモアルヘシ  
四季役所各郡春夏秋冬ニ設クハ裁判所ヲ云フノ指令ニ隨ヒ各郡  
地方ヲ小分シテ數區ト為ス人口ノ繁疎ニヨリ  
教育賦税ニ多寡アレハ區地ノ廣狹ハ一様ナラ  
ス或ハ一都ヨリ成ルアリ或ハ一都ヲ兩區ニ分  
割スルアリ



斯ノ如ク分割セル諸區ニ於テ每區別ニ教育專務ノ執事六人ヲ選舉シ諸務ヲ分課シテ教育局ヲ掌ラシム此局ニテ區内學校所屬ノ財貨物品ヲ保護シ學校建家ノ營ニ教官ヲ選用シ講授ノ課程ヲ定メ貧富貴賤ヲ問ハス六歳ヨリ二十一歳ニ至ル學齡ノ男女ヲシテ容易ニ從學スルヲ得セシムヘシ教官ノ給料ヲ定メ及ヒ教官中ニ怠惰過失ノ確證アル者アレハ之ヲ免ヌルノ權アリ右執事ノ内一人ヲ監督使ト定メ毎月一度區内ノ學校ヲ巡監シ放肆ノ生徒アレハ直ニ之ヲ

放校ス

右教育局ニテ區内教育ノ為メ收税ノ多寡ヲ議定スヘシ區内學校ニ分配スヘキ定額金ヲ前以テ會計官ヨリ請取り置キ教育局ノ指令ヲ待チテ配當ス居民一萬ノ都邑ニハ必ス別ニ一人ノ學督ヲ置クヲ以テ規則トセリ此學督ノ職務ハ上文ニ云ヘル各郡教育長官ト異ナラスト雖モ獨リ諸規則ヲ舉措スルノ權ナレ

教育金ノ事







理事  
工務  
卷二  
文部省

ハ其区内ノ學校執事ヲ選舉スヘシ而シテ執事  
ニ選レタル者ハ誓詞ヲ郡廳ニ出シタル後部属  
ノ書記官輔官收税官及ヒ會計官等ヲ置キ区内  
諸學校ノ法則ヲ立テ學校ヲ建築シ或ハ四歳ヨ  
リ十六歳ニ至ル童子ノ名簿帳ヲ收握スル等ノ  
權アリテ毎年取扱タル事務ヲ其郡學督ニ上報  
スヘシ  
各郡廳ハ教官ノ技倆ヲ吟味シテ之ニ證書ヲ與  
ラル為メ三人ノ吟味役ヲ命スヘシ  
租税ヲ出スヘキ所有品ヲ所持スル選舉人ハ又

租税百分ノ何程ヲ以テ學費ニ供スル等ノ事ヲ  
議定ス而シテ新ニ學校ヲ造築セシムルヲ企テ費  
用更ニ増加スルニ於テハ選舉人中三分ノ二ノ  
許可スルヲ要スヘシ  
執事局ノ管下ニ在ル諸學校ヲ監スル學督即チ全部  
ノ學督ハ烏達部ノ公會之ヲ選舉スヘシ此學督ニ  
任セラレタル者ハ毎年公會ノ開院後第一週日  
中ニ自ラ取扱タル事務ヲ録記開申スヘシ其他  
各州學督ト其職掌異ナルヲナシ  
一部ノ學督ハ八月第一月曜日一般ノ公選ニテ

理事  
工務  
卷二  
三五  
文部省



之ヲ舉ケニケ年ノ間其職ニ在ラレムヘシ  
ソールトレーキ府學事略記

ソールトレーキ府ハ烏達部ノ首府ニシテ人口  
一万五千全府ヲ二十一大區ニ分チ每區ニ九小  
區ヲ置ク其一大區毎ニ學校一所ヲ設ケ三人ノ  
執事ヲ選ンテ市中一般ノ學校事務ヲ掌ラシム  
其他一郡ノ學督アリテ其郡中ノ教育事務ヲ監  
督ス學費ヲ取立ル法二種アリ一ハ市中所有品  
稅三分ノ一ヲ以テ學稅ニ充ツルト一ハ唯生徒  
ヲ出ス父兄ヨリ各其修業料ヲ納メシメ其高凡

三弗ヨリ七八弗ニ至ル但其増減ハ受業學課ノ  
高下ニ依テ同シカラス  
烏達部學區ノ數一百八十九  
幅負八万四千四百七十六里  
人口凡十一万外ニ紅苗一万  
二十八百人  
小學校二百四十二  
入校生負一万五千百人男七千五百二十四人  
女七千五百七十六人  
四歳ヨリ十六歳ニ至ル童子全負二万四千百三  
十八人  
毎日出席ノ比例數一万。六百十八人童子百人

里部力屋  
卷二  
三六  
文部



伊理奈州學制略記

中四十四人ツ、出席ノ平均ニ當ル

學督ノ事

人民ノ公選ニテ學督ヲ命シ在職四ケ年ヲ限ル  
右在職中ハ州内教育事務ヲ專任シ其責ニ負荷  
スルヲ以テ盟約セシム其事ハ州法第三葉ノ一  
二章ニ詳カナリ此官ハ學校ノ諸規則及ヒ教育  
ニ關セル諸務ヲ簿書シテ常ニ其局ニ備ヘ置キ  
教育上ニ欠クヘカラサル事件アルニ當テハ或  
ハ說話或ハ書翰ヲ以テ時々其模様ヲ通告シテ

各地ノ教育諸官ヲ補助シ一般ノ監督ヲ為シ每  
年學校課表ヲ集メ教育ノ諸件ヲ簿書シ一卷ノ  
書冊ヲ編輯スベシ其他學督ノ權ニテ教育ニ緊  
要ノ規則ヲ定メ布令ヲ發シ事務ヲ裁決スルコ  
アルヘシト雖モ州法ノ定律ヲ超ユルヲ得ス  
教育ニ關セル諸官ニテ職務ヲ怠ルカ若クハ規  
則ヲ犯ス等ニテ退職ノ節ハ學督ヨリ教育定額  
金ノ内ニテ其給料等ヲ引替ヘ置クヘシ  
郡邑教育事務ノ事  
當州ノ各郡ニ於テ三人ノ學督ヲ置キ學務ヲ統

理事の程 卷二 三七



轄セシムルノ濱シバ瓦尼州各郡ノ教育長官ト聊  
 カ異ナルトナケレハ更ニコ、ニ記載セス「タウ  
 ニシブ」縣ニテモ亦一般ノ學制ヲ設ケ其地方人  
 民中ヨリ三人ノ教育執事ヲ選舉シ在職三年ヲ  
 限リ諸務ヲ掌ラシム右執事ヨリ別ニ一人ヲ選  
 舉シ會計記録ノ兩務ヲ委任ス尤モ教育施行ノ  
 便宜ニヨリ「タウ」シブ「フ」尚數區ニ分割スル  
 アリ  
 斯ノ如ク分割シテ數區ヲナスハ每區人民中  
 ヨリ更ヒ三人ノ教育執事ヲ選用シ各分課シテ

教育局ヲ設ゲシム但シ在職三年ヲ定限トス  
 右ノ執事等勤メテ學校ヲ取立テ一ケ年ノ開業  
 時間ヲ六ケ月間ト定メ教育年齢六歳乃至二十  
 一歳ノ少年ヲ充分ニ教育スルヲ要トス學校ヲ  
 巡監シ課程ヲ定メ定額金ヲ決シ教官ヲ進退ス  
 ル等ノ事件ハ總テ執事ノ職掌タルヘシ  
 教育金ノ事  
 當州ニテハ嘗テ合衆國本府ヨリ分配セル土地  
 金貨ヲ基本トナシ毎年所有品稅一弗ニ付キニ  
 「シ」ノ金負ヲ之ニ合併シテ六百十三万二千。





八十六弗二十八セントノ教育元金ヲ準備セリ  
郡邑教育金ノ事  
教育ノ為メ郡邑ニ付屬セル地方ヲ賣却シ各其  
教育元金ヲ備フ郡邑各區ノ學督等相會議シテ  
教育施行ニ就テ必要ナル費用ヲ算シ區内ノ所  
有品ヨリ收税スルト他ノ税法ニ異ナラス斯ノ  
如ク收税セル教育金ニ贏餘アル片ハ之ヲ書庫  
ニ給シ其費用ニ充ツ區地教育金ノ出納ハ其執  
事ノ指令ニ隨テ會計官之ヲ掌ルヘシ  
右數州ノ記載ニヨリ各州教育施行ノ方法ニ

大同小異アルヲ知ルノミナラス各州ノ教  
育局ニテ各自ニ學制ヲ設ケ學校ヲ造營シ教  
官ヲ選用シ賦税ヲ收歛シ及ヒ金貨ヲ出納ス  
ル等ノ概略ヲ見ルヘシ尚ホ其詳カナルヲ知  
ラント欲セハ各州ニテ採用セル所ノ軌範ニ  
就看セハ極メテ簡易ナリ  
一般ノ教育ヲ補助セシカ為メ各州ノ人民互  
ニ協議シ同社ノ學校ヲ設クルモノアレハ政  
府ヨリ能ク之ヲ保護シ其便宜ヲ得セシム又  
自ラ私塾ヲ營ミ幼童ヲ集メテ教育スルモ政





府之ヲ妨ゲス、必ズ許可スルヲ知ルヘシ  
前文ニ記載セル如ク、蓋シ亞米利加洲ノ教育  
ハ新英國及ヒ其近傍ノ數國ヲ第一トセリ、就  
中善美ニシテ最モ注意スヘキモノハ麻沙朱  
色州ノ方法ナルヲ以テ讀ム者更ニ考索セシ  
ヲ要ス

合衆國學事雜記

合衆國教育事務局官負

内務省五分局中ノ一ニシテ四年前始テ之ヲ開  
キ其後二年ニシテ内務省ニ附屬ス

長官コム一人歳俸以前ハ四千弗ナリシニ當  
時三千弗ニ減セリ

書記官 一人歳俸千八百弗

同 一人同 千六百弗

同 一人同 千四百弗

使部 一人同 八百四十弗

局中雜費定額金一ケ年三千弗

右ニテ局中紙筆墨等ヲ辦ス

教育調査表 千八百  
六十年

人負三千一百三十一万六千六百四十二人



五歳ヨリ二十歳ニ至ル學齡一千百二十一万人

百二十一万人

内

就學五百六十八万。三百五十六人 白種五百六十四万

七千七百二十九人 黒種

不就學五百五十二万九千七百七十二人 白種三百

八十二万一千九百七十二人 黒種一百七十八万人

二十歳以上ノ成年一千五百十八万三千五百八十八人

内

文字ヲ知ル者 白人一千二百八万六千五百五十六人 黒人十四万五千八百八十五人

文字ヲ知サル者 白人百十二万四千九百七十四人 黒人百八十二万七千二百六十五人

知文字者合一千二百二十三万三千四百一十一人

不知文字者合二百九十五万二千二百三十九人

千八百四十年白哲人二十歳ノ成齡三十一万七

千三百五十三人ニシテ不學ノ者二万九千四

千百六十六人、百分ノ九ニ居ル

千八百五十年全上ノ人民四十四万六千九百。

一人ニシテ不學ノ者四万九千百二十一人、百

分ノ十一ニ居ル

地理学

卷二

里

文部省



千八百六十年全上ノ人民六十万五千四百七十  
 六人ニシテ不學者五万五千三百四十二人百  
 分ノ九ニ當ル  
 千八百四十年白種黒種及奴隸二十歳以上ノ成  
 人合七百五十一万一千三百二十六人ニシテ  
 十筆讀ヲ能クセサル者百六十五万。四百七十  
 八人、百人毎ニ二十二人ニ當ル尤白種ノミヲ  
 算スル時ハ八人ト九七ニ當ル  
 千八百五十年白種黒種及奴隸二十歳以上ノ成  
 人合一千百。三万二千四百十四人ニシテ文

字ヲ知ラサル者二百四十九万七千九百一人、  
 百人毎ニ二十三人ニ當ル尤奴隸ヲ除キ自主  
 自由ノ人民ノミヲ算スル時ハ十一人ト四八  
 ニ當ル  
 千八百六十年全上ノ人民一千五百二十九万二  
 千三百四十人ニシテ不文ノ者三百。一万二  
 千三百三十人、百人ニ付二十二人ニ當ル尤奴  
 隸ヲ除クハ九人ト四二ニ當ル

各州學校統計表 千八百七十年





州名	全人員	學齡人員	就學期限	學費總歲入	教官一人ニ付月給ノ平均數
アラバマ	一百萬。二千八 三十三萬六千人	五歲ヨリ二十一歳ニ至 十六萬人	五十二萬四千六百五十一弗	男 八十弗 女 六十弗	
アルカニサス	四十八萬六千。三 十八萬人	五歲ヨリ十五歳ニ至 十萬人	六十四萬七千九百九弗	男 八十弗 女 六十弗	
カリホルニア	五十六萬。二百七 十一萬二千七百五十三人	五歲ヨリ十五歳ニ至 七萬三千七百五十四人	百五十四萬三千二百七弗	男 八十弗 女 六十弗	
コンチクチダト	五十三萬七千八百 十二萬五千四百。七人	四歲ヨリ十六歳ニ至 五。五。三。百。十三人	百八十八萬五千五百五十一弗	男 五十弗 女 二十九弗	
アラゾール	十二萬三千二百 四萬九千九百九十五人	五歲ヨリ二十一歳ニ至 四萬九千九百九十五人	十萬三千七百五十一弗	男 三十弗 女 二十弗	
フロリダ	四十八萬九千九百 四萬一千九百人	四歲ヨリ二十一歳ニ至 七千五百七十五人	八十八萬四千四百五十一弗	男 三十弗 女 二十弗	
ジョージア	二百七萬九千八百 二百七萬九千八百五十八人	六歲ヨリ二十一歳ニ至 六萬六千六百六十八人	百五十五萬五千七百五十一弗	男 三十弗 女 二十弗	
イルリノイス	三百零四萬。二百 八十三萬三千三百三十八人	六歲ヨリ二十一歳ニ至 七十萬六千七百八十八人	六百九十九萬六千八百九十一弗	男 四十弗 女 三十弗	
インヂャナ	二百零六萬。六百 零九萬九千五百九十九人	六歲ヨリ二十一歳ニ至 六萬六千六百六十八人	百五十五萬五千七百五十一弗	男 三十弗 女 二十弗	

ヨウ	二百七十七萬五千 四百九十九人	五歲ヨリ二十一歳ニ至 二十九萬三千三百三十八人	三百二十二萬九千九百九十一弗	男 三十弗 女 二十弗
カニサス	三十五萬三千三百 九萬二千五百七十八人	五歲ヨリ二十一歳ニ至 五萬八千六百八十一人	五十六萬五千三百九十七弗	男 三十弗 女 二十弗
ケントッキ	二百三十二萬三千 三百零八人	六歲ヨリ二十一歳ニ至 十。四。百。四。十八人	三十三萬七千七百五十一弗	男 三十弗 女 二十弗
ロイシヤナ	七十一萬三千三百 二十五萬四千五百三十三人	六歲ヨリ二十一歳ニ至 五萬人	一百二十二萬六千五百五十一弗	男 三十弗 女 二十弗
メイン	三十三萬。四百 二十二萬八千九百九十九人	四歲ヨリ二十一歳ニ至 十二萬六千九百九十九人	七十八萬五千七百五十一弗	男 三十弗 女 二十弗
マレーランド	七十七萬五千 十八萬二千二百。五人	五歲ヨリ十五歳ニ至 九萬九千三百五十五人	一百一十七萬七千六百五十一弗	男 三十弗 女 二十弗
マサセツ	一百零五萬七千 二十七萬五千。五人	五歲ヨリ十五歳ニ至 三十四萬七千。八十人	三百三十三萬七千五百五十一弗	男 三十弗 女 二十弗
ミナガン	一百八十四萬五千 三千七百四十七。七。十。四。人	五歲ヨリ二十歳ニ至 二十六萬九千五百七十七人	二百五十五萬九千九百九十一弗	男 三十弗 女 二十弗
ミソシタ	四十六萬人 十四萬四千四百。十四人	五歲ヨリ二十一歳ニ至 十萬二千。八十六人	七十五萬九千二百五十一弗	男 三十弗 女 二十弗
ミスシビ	八十三萬四千九百 九十九人	五歲ヨリ二十一歳ニ至 五萬人	八十三萬四千九百九十一弗	男 三十弗 女 二十弗

理事功程

卷二

四三



ミスリ	百七十方。三千人	五歳ヨリ二十一歳ニ至	二百方。三千四百。三弗	男 三十八弗六十セント 女 二十九弗八十セント
子ウラスカ	十一万六千八百八十八人	五歳ヨリ二十一歳ニ至	十九万九千六百九十二弗	男 三十四弗三十二セント 女 三十三弗六十六セント
子ワダ	四万四千六百八十六人	六歳ヨリ十八歳ニ至	九万七千六百四十六弗	男 百八弗七十五セント 女 九十二弗十六セント
ニユーハフサイル	三十一万八千三百八十八人	四歳ヨリ二十一歳ニ至	三十二万三千七百七十九弗	男 三十一弗五十九セント 女 二十弗六十二セント
ニチヂェルシー	七万五千五百五十九人	五歳ヨリ十八歳ニ至	二百零九万九千七百九十弗	男 五十三弗六十二セント 女 三十一弗六十六セント
ニユーヨーク	九十九万人	五歳ヨリ二十一歳ニ至	千。三万三千九百零五弗	男 六十三弗三十二セント 女 六十二弗三十二セント
クルスカロリナ	三百五十八千三百七十八人	六歳ヨリ二十一歳ニ至	十六万五千二百九十弗	男 二十弗五十五セント 女 十八弗五十五セント
ヲハイワ	二百零七万五千四百六十八人	五歳ヨリ二十一歳ニ至	八百九十九千三百零九弗	男 五十五弗六十三セント 女 三十三弗二十六セント
ヲレゴン	九万。七百七十六人	四歳ヨリ二十歳ニ至		男 女
ベンシルハニヤ	三百四十七万五千九百九十七人	六歳ヨリ二十一歳ニ至	七十九万七千五百零五弗	男 四十弗四十五セント 女 三十一弗三十八セント

ロドアイランド	二十二万七千三百五十六人	二万九千四百七十七人	三万二千八百。六弗	
ソウスカロリナ	七十二万人	五歳ヨリ十八歳ニ至		
アシチスシー	十六万八千八百九十九人	二万五千九百十八人		
テキサス	二百五十五万三千六百六十八人	六歳ヨリ二十歳ニ至	七十五万三千七百九十五弗	
ウエルモント	八十五万人	六歳ヨリ十八歳ニ至		
ウエルモント	三十三万。五百八十五人	四歳ヨリ十八歳ニ至	四十九万八千。六弗	
ウエルモント	七万零七百五十九人	七万四千四百四十人		
ウエルモント	二百二十万。九千六百七十八人	五歳ヨリ二十一歳ニ至		
ウエルモント	四万四千七百九十三人	六歳ヨリ二十一歳ニ至	二十八万二千。五十七弗	男 三十四弗
ウエルモント	二百五十五万二千二百六十八人	四歳ヨリ二十歳ニ至	三百零九万三千三百零九弗	女 三十一弗五十五セント
ウエルモント	三十九万七千七百四十七人	二十六万四千。三十三人		男 四十一弗三十三セント 女 三十八弗三十四セント
三十七州合	三千八百七十七万二千二百六十八人	六百五十五万五千四百三十五人	卒。六万五千四百三十五人	男 女

各部

里 第 卷 二 四十四



理事功程 卷二

部名	全人負 學齡人負	學齡期限 就學生負	學費總歲入	教官一人ニ付 月給ノ平均數
チネティック、 コロムビア	十三万一千七百〇六人	六歳ヨリ十七歳ニ至 二万七千九百三十九人		
アリソチ	四万六千二百八十七人			
コロラド	四万五千四百八十七人			
ガクタ	四万八千二百九十九人			
アイダホ	二万一千三百五十四人			
モンタナ	三万四千三百二十五人	百八十一人		
ニューメキシコ	十四万一千四百三十四人			
ユタ	十二万二千八百八十八人 二万四千百三十八人	四歳ヨリ十六歳ニ至 二万五千百人		
ワシントン	三万九千五百五十九人			

ワシントン	三万九千五百五十九人			
ユタ	十二万二千八百八十八人 二万四千百三十八人	四歳ヨリ十六歳ニ至 二万五千百人		
アイダホ	二万一千三百五十四人			
モンタナ	三万四千三百二十五人	百八十一人		
ニューメキシコ	十四万一千四百三十四人			
インヂヤン テリトリ	四万五千四百三十人			
アラスカ	二万九千五百六十四人			

大都府學稅異同表

新約克府	十二「セント」五「ミル」ラ學稅トス
提加義府	十七「セント」一「ミル」
波士敦府	十七「セント」九「ミル」
霸地磨府	二十三「セント」
費拉地費	二十六「セント」
心士那提	三十五「セント」

私所有ノ品ノ價百弗

理事功程 卷二 四十五



聖羅維府  
三方濟各府  
華盛頓府

聖羅維府

付 四十「セント」

三方濟各府

キ 四十五「セント」

華盛頓府

六十「セント」

各州府學督俸金

伊里奈州郡學督

三千弗

千尼底克州學督

三千五百弗

全助

一人 一千六百弗

麻沙朱色州教育事務局書記官

三千弗 旅費四百弗

全助

三人 二千弗

全州ニハ郡學督ヲ置カス

波士敦府學督

一人 四千五百弗

全州ニハ助官書記官ヲ置カス

新約克州學督

一人 五千弗

全代理

一人 千六百弗ヨリ 二千二百弗ニ至ル

全府學督

一人 四千七百五十弗

全小學校學督

四人 三千六百弗ヨリ 四千二百弗ニ至ル

右學校及ヒ教官ヲ吟味シテ免許狀ヲ渡スヲ

以テ職掌トス

阿比尼府學督兼書記官

一人 二千弗

全録事

一人 一千弗

聖羅維府

三方濟各府

聖羅維府

三方濟各府



貌克令府學督

一人 三千弗

全助 一人 二千五百弗

全書記官 一人 二千五百弗

全録事 二人 一千五百弗

全使部 一人 五百弗

倭海呀州學督 一人 四千弗

全助 三人 二千弗

賓夕瓦尼州學督 一人 二千五百弗  
旅費六百弗

全代理 一人 一千八百弗

全會計掛録 一人 一千四百弗

全統計掛録 一人 全右

全筆記掛録 一人 全右

全使部 一人 九百弗

合衆國中各州各部ニ一州ノ學督一郡ノ學督或ハ一府ノ學督ヲ置ク其旨大同小異其内事務繁簡ニ依テ助官ヲ置ク者アリ或ハ置サル者アリト雖モ學督アレハ必ス書記ヲ附属セシムルヲ例トス此等ノ官員ハ地方官ニテ之ヲ舉ケ歳俸ヲ給ス其他各區ニ三人或ハ四人ノ世話役ヲ設ク是皆民選ニ出ル者ニテ學校ノ事務總テ其



現行政務  
一

管理ニ歸ス然レモ大抵俸金ヲ給セス其  
大學校綜説

合衆國中「ユニウエルシチ」及「コルレヂ」ト称スル  
大學校ヲ通算スレハ三百六十九ヶ所アリ各州  
ノ形勢ニ依リ或ハ多ク設クル者アリ或ハ少ク  
設クル者アリ内多キ者ハ「ハイ海呀州」ニ三十五校  
賓夕瓦尼州ニ三十四校アリ少キ者ハ「アルカンサス阿甘色州」  
紐罕什尔州ロイドアイランド洛底島州ノ如キ各僅ニ一校ヲ設ク  
○三百六十九校ノ内二十五校ハ各州政府ノ管  
轄ニシテ一校ハ市中ノ管理ニ属シ又一校ハ坊

エ社中ノ管轄ナリ何レノ所轄ニ属スル乎分明  
ナラサル者八十三校ニシテ餘ノ二百五十九校  
ハ宗徒ニ属ス其區別左ノ如シ

- メゾリガストエピスコパル 六十校
- ローマンカトリキ 四十七校
- バプチスト 三十七校
- プレスビテリエン 二十八校
- コングレゲイションタル 十九校
- プロテスタントエピスコパル 十六校
- リユージェラン 七校

理事功程  
卷二  
四八  
改訂部省



チヨルチ、ラフ、カライスト 七校  
 ゼルメンレホルムド 五校  
 ユナイテッドブレスルン 四校  
 コムベルランドプレスビテリエン 三校  
 フレンヅ 三校  
 ユニウエルサリスト 三校  
 ユナイテッドプレスビテリエン 二校  
 フリーウイルバプチスト 二校  
 マラウキヤン 二校  
 アフリカンメゾーヂストエピスコパル 一校

レホルムドドツチ 一校  
 ニユーチヨルチ 一校  
 レートルテーセンツ 一校  
 ユニタリヤン 一校  
 右ノ内二百九十九校ノ教師三千二百。一人生徒  
 徒五万四千五百人但シ六十七校ハ男生ノミヲ  
 教ヘ五十四校ハ女生ノミヲ教ヘ七十七校ハ男  
 女両生ヲ教授ス餘ノ七十一校ハ何等ノ生徒ヲ  
 教ユル歟其詳ヲ得ス各校皆必ス一ノ學頭ヲ置  
 キ若干ノ職員ヲ附屬セシム其事務ニ屬スル者



ヲ「コルレヂゴウルメント」ト唱へ教務ニ属スル者ヲ「コルレヂハコルチ」ト云フ又大學校内ニハ必ス一ノ書庫ヲ備テ生徒ノ縦覽ニ供ス堪比日ノ「ハルワルド、コルレヂ」書庫ニハ十九万四千卷ノ書ヲ貯エ紐赫温ノ「エール、コルレヂ」ニハ九万卷ヲ備フ此二校ハ合衆國中最著名ノ大學校ナリ下ニ「ハルワルド」大學校ノ大略ヲ舉ケ諸學校ノ例ヲ示スヘシ大學校生徒ノ區別凡ソ左ノ如シ

豫備校生

プレパレトリイ  
デパートメント

凡三四年ヲ以テ修業期限トス

初年生

フレレメン  
クラス

凡一年ヲ期限トス

二年生

ソホモ  
ルクラス

凡二年ヲ期限トス

乙種生

デニナル  
クラス

凡一年ヲ期限トス

甲種生

セニナル  
クラス

凡二年ヲ期限トス

科學生

サイニチルキ  
デパートメント

凡二年乃至四年ヲ期限トス  
学科ニ依テ異同アリ

大學校ノ修業料ハ各齊カラス少キ者ハ一季ニ至弗乃至二十弗ニシテ多キ者ハ八九十弗ニ至ル然レ凡四五十弗ヲ以テ中等トス又一ケ年ヲ以テ定ムル者ハ凡百五十弗乃至二百弗ヲ以テ中等トス或ハ全ク無束脩ニテ教授スル者ア



新約克府「コレヂ」大  
ニハ寄宿舎ヲ設クル者アリ或ハ全ク設ケサル  
者アリ半バ寄宿生ニシテ半バ通學生ノ者アリ  
當今各所共一ヶ月ノ賄代十弗ヨリ二十弗ノ間  
ニ出テス大抵一週日ニ三弗四弗五弗ト定ムル  
者多シトス寄宿賄ノ事ハ假令公費學校ト雖モ  
官ニテ餘リ關係セス全ク社中ノ商議ニ依ルナ  
リ

合衆國醫學校ノ數凡八十八ヶ所教師五百八十  
八人醫學生六千九百四十三人醫學聽講手形ノ

代凡三十弗ヨリ百五十弗ニ至ル尤百弗餘ノ者  
ヲ多シトス入社金凡五弗等級金凡二十五弗乃  
至三十弗ヲ定限トス  
合衆國ニ於テハ醫術ヲ業トスル者ト政府トノ  
關係恰モ一般ノ産業ヲ營ム者ト異ナラス合衆  
國政府ハ國中ノ醫者ヨリ毎年租稅ヲ取り陸軍  
海軍醫ヲ除クノ外一モ差配スルコトナシ醫師ノ  
力量進退及給金等ニ就テハ一二州ヲ除ケハ各  
州ノ政府更ニ關係スルコトナシ尤各州ノ政府ハ  
時トシテ病院及醫學校ノ為ニ免許狀ヲ出スコ

經理功程 卷二 至



理部  
二  
光二

アリ扱又諸郡邑ニテハ貧病人ノ為メニ其用醫  
ヲ命スルコトアリ大都府ニハ衛生局ヲ立テ一般  
ノ健康ヲ保護スル為メ貴重ナル良法ヲ設ケテ  
リ醫師ハ斯ノ如ク政府ヨリ關係セズ然レモ人  
生ニ欠ク可ラサル一事業ナルヲ以テ遂ニ自ラ  
醫師社友ヲ結フノ勢ニ至レリ此社中ノ主意假  
令社法ヲ犯ス者アリト雖モ無理ニ譴責スルノ  
權ナク唯之ヲ忌避スルノミ千八百六十九年内  
地征稅局ニテ取立タル内外醫師ノ稅五十万五  
千七百八十五弗五十五セシト尤合衆國中開業

文部  
部

ノ内外科醫師凡五万餘人アリ  
其外法學校二十八ヶ所教師九十九人生徒一千  
六百五十三人○神學校九十三ヶ所教師三百三  
十九人生徒三千二百五十四人○商學校二十六  
ヶ所教師百五十四人生徒五千八百三十四人ア  
リ○農學校二十六ヶ所教師百四十四人生徒一  
千四百十三人アリ○師範學校八十一ヶ所○國  
中諸學校ニ附屬セサル大文庫一百六十一ヶ所  
○盲院二十二ヶ所啞院三十六ヶ所癩院五十八  
ヶ所痴院九ヶ所○切支丹少年會三百八ヶ所

理部  
勅  
令

卷二

三

文部  
部



堪比日大學校

堪比日、哈發的大學校ハ千六百三十八年ノ建  
立ニシテ有志輩ノ共立學校ナリ學士頭取一人  
教職及事務掛リ合テ百三十六人執事二十人ア  
リ學生一千百。六人内無級生六百十九人神學  
生三十人法學生百三十四人醫學生百九十六人  
其餘ハ諸藝學生ナリ  
此大學校ニ入テ尋常學生ニ加ハラント欲スル  
者ハ毎年六月ノ試業ニ於テ羅甸學、希臘學、數學、  
地理書、歷史、佛語學等ノ吟味ヲ受クベシ此吟味

ニ出ルルハ必ス行狀證書ヲ持參シ試業ヲ經テ  
入學ノ許ヲ得レハ學校常例ノ費用ニ充ツル為  
前以テ六百弗ノ金券ヲ賄方ニ預ケ置クヘシ

尋常學生課業順序

初年生

希臘學 羅甸學 數學 窮理學

佛蘭西 辯說 脩身學

二年生

日耳曼 窮理學 歷史 化學

文論學 辯說





理事功程 卷二

優等生

經典 希臘

論辯 希臘

性理學 希臘

今代語學 伊太利

數學 圓錐術

窮理學 化學

萬有學 輿地學

格致學 性理學

文論學 窮理學

重學講釋

優等

經典 希臘

論辯 希臘

性理學 希臘

史學 歐羅巴

今代語學 希臘

數學 積算

窮理學 天文学

博物學 植物學

窮理學 理學

文論學

理事功程 卷二

甲種生

窮理學

理學

文論學

五

歐陽



五事功利

第一

高

優等

經典 希臘 羅甸

理學 修身學 總論

史學 中世史 日耳曼史

今代語學 日耳曼 西

數學 天文学 測量術

窮理學 光線 耳學

博物學 植物學 動物學

全費用

修業、書庫、運動場料 一ケ年

百五十弗

性理學 政治總論

日耳曼史 羅馬史

西國公法 ウーレシー氏

英撒遜 以大利

電氣 磁石力

礦石學 化學試驗

經濟學 リム氏 アタスミツ氏

英吉利詩文學

部屋料 小使料共

三十八週日賄代

書庫料

不時費用

一ケ年費用合計三百五十弗乃至五百八十

一弗

其他ノ費用ハ生徒經濟ノ都合ニ依テ増減アリ

炭薪等ハ學校用達ヨリ生徒ノ部屋へ運フヲ以

テ代價ハ市中ノ相場ニ從テ拂フヘシ又入舎ヲ

好マサル者ハ學校近傍ノ民家ヲ借ルヘシ當時

理事功程

卷三

五五

概部



五三  
功和  
卷二

ハ一ヶ年ノ借料凡七十五弗ヨリ二百五十弗ニ  
至ル家ノ善惡ニ依テ高下アリ尤學校ヨリ半里  
以上ヲ離レテ借ルトキハ猶下直トス賄料ハ一  
週日凡四弗乃至八弗但市場ノ都合ニ依テ少シ  
ク差異アルハ勿論ナリ學校内ニ寄宿スル生徒  
ハ其夜具并器具ヲ自テ整スベシ寄宿賄料ノ拂  
時限ハ一年二度賄方ヨリ勘定書ヲ出ストキ拂  
フヘキナリ  
ベキユニアリトエドト號スル金銀救助ノ一  
法アリ此ハ最前僅少ノ用意金ヲ以テ入學シタ

ル生徒半ニシテ費用缺乏ノ為メ余義ナク學校  
ヲ退カサルヲ得サルトキ若シ其人俊秀ニシテ  
可惜人物ナレバ社中一般ニテ之ヲ救助シ滯學  
セシムルモノナリ○猶其他當校ハ從來有志輩  
ノ寄附シタル積金アリ之ヲ篤志ノ貧生ニ五十  
弗乃至百五十弗ヲ分施シテ其費用ヲ助クルコ  
アリ年々ノ出納高凡七百五十弗ナリ此等ノ救  
助ヲ願フ者ハ父母又ハ後見人若クハ廿一歳以  
上ノ生徒ナラハ自身ニテモ六月一日マテニ學  
頭へ願書ヲ出シ其助力ヲ請ハサルヲ得サル情

聖事功和  
卷二

五六

敬柳翁



實ヲ委シク陳述スヘシ○右仁施金ノ外更ニ又  
貸金ノ元金アリテ年々二千弗餘ノ利息ヲ納ム  
ル者アリ之ヲ勉強生徒ノ最懇望スル者ニ五十  
弗乃至百五十弗ノ高ヲ貸スヲアリ尤此元金ハ  
波士敦府ニ在ル執事局ノ管轄ニシテ會計司之  
ヲ司トル今既ニ返納金等ヲ算スルトキハ元金  
ノ外ニ八千弗ノ高ヲ増シタリ但此金ヲ借用ス  
ルハ恰モ民家ノ財ヲ借ルカ如クニテ夫々ノ手  
數ヲ經ヘシ生徒若シニ十一歳以下ナルトキハ  
其兩親ヨリ學校執事ニ歎願スヘシ

神學校

神學校教職七人内學頭一人助手一人生徒三十  
人ナリ此分科學校ニ入ル生徒ハ是マテ師負ノ  
内ニテ其為人ヲ知ル者ナキハ必ス行狀證書  
ヲ持參スヘシ且又全科ヲ成就セント欲スル者  
ハ入學ノトキ羅旬學希臘學等ノ吟味ヲ受ク可  
シ尤技術半成級ヲ濟シタル者ハ必シモ吟味ヲ  
要セス神學ノ全科ヲ終ンニハ全ク三ケ年ノ期  
限ヲ要スヘシ

部屋料

六十弗



理事功程 卷二

修業料 五百弗

賄代 百三十三弗但シ一週日三弗

炭薪類 二十五弗

洗濯料膏火料 右ノ外ナリ

寄宿舎ハ每室ニ寢床引出シ付卓及机ヲ備ユ

置ト雖兀煖爐其他ノ器具ハ生徒ノ私辨タル

ハ社中賄方ニテハ一週日三弗五十セント

越エスレテ私家ノ賄ハ五弗乃至八弗ナリ

神學校生徒ハ無出費ニテ書庫ニ出入スルヲ

得ヘシ

法學校

法學校ハ教授四人講義人五人生徒百三十四人

アリ此學校ノ主意ハ英國及米國律法ノ行ハル

ル疆内ニ於テ實踐ニ施スヘキ基礎ヲ研究スル

為メ此兩國律法ノ源則ヲ教授スルニ在リ此目

的ヲ達セシニハ全ク二ケ年ノ課程ヲ要スヘシ

即チ左ノ如シ

第一年

家産律

盟約書

理事功程 卷二

五八

法律部



法律

治罪法 刑律

俗法

第 二 年

家産律 俗法

詞訟法 公正法

右ノ外千八百七十一年ヨリ七十二年ニ至一ケ

年ノ課業ハ左ノ課目ヲ加フ

國法 動産賣買律

保險 海上保險律

民權 海軍律

法與法抵觸

法學校ニ入ル生徒ハ等級ヲ踏シカ為甲部ニ加  
ハラント欲スル者ノ外檢査ヲ經スシテ何科ニ  
テモ好ミニ任セ時日ノ定限ナク勝手ニ入社ヲ  
許スヘシ尤他ノ「コル<sub>レ</sub>」校ヨリ移リ来ル生徒  
ニ非レバ必ス十九歳以上ニシテ行狀證書ヲ持  
參スベシ又入學ノ節ハ後日費用ノ為メ二百弗  
ノ金券ヲ納ムヘシ若シ金券ヲ出サレハ一年  
分ノ教授料ヲ前以テ拂ヒ置キ猶外ニ五十弗ヲ  
賄方ニ預ケ置ケバ一年ノ終末ニ於テ會計司ヨ

理事功程 卷二

五十九

敬 郎 翁



算計スベシ等級ヲ受ル為メノ入學ハ一年一  
 度九月ノ中吟味ヲ經テ後ニ許スベシ其他ノ時  
 日ニハ一人モ許サス  
 二年ノ課業ヲ終テ常式試業ヲ經タル者ニハ  
 ツ左ロル級ノ與フベシ尤二年ノ後在校スルモ  
 勝手ナリ○法學生ノ費用ハ修業初一年ハ百五  
 十弗次ノ年ハ百弗其後ハ何年ニナルモ五十弗  
 ツト定ム半年カ又ハ半年以下ナレハ半年分ノ  
 教授料ヲ拂ヒ半年以上ハ必ス一年分ヲ拂フヘ  
 レ其他ノ費用左ノ如レ

家財附ノ部屋料小使料共 七十五弗乃至百五十弗  
 三十八週日賄代 百九十弗乃至三百四弗  
 炭薪及膏火料 二十弗乃至三十五弗  
 書籍料 二十弗乃至二十五弗  
 合テ三百五弗乃至五百十四弗  
 右ニ記載シタル賄代ハ社中賄方ノ價ニテ自  
 分賄ニスルトキハ少ク下廉ナルヘシ法學校  
 ヨリ一里ヲ離レテ民家ヲ借レハ下廉ノ部屋  
 ヲ得ヘシ  
 法學校書庫ハ合衆國中大書庫ノ一ニシテ他法





醫學部  
卷二

學書庫ノ企及ヲ所ニアラス實ニ合衆國第一ナ  
リ而シテ今猶次第ニ増加セリ此書庫ハ法學生  
ノ為ニ一年中晝夜共開キ置ク者ナリ

醫學校

醫學校教職二十四人内學頭一人助手一人助教  
五人生徒百九十六人アリ此分校ハ解剖學、生理  
學、診察學等、便益ヲ得ンカ為ニハ成丈ケ人口  
多キ大都府ニ置クヲ適當トス是ニ依テ之ヲ波  
士敦府ニ建テリ  
醫學校ニ入テ始終正則ニ從テ習業セント欲セ

ハ全ク三ヶ年ノ期ヲ要スヘシ即チ課程ノ順序  
左ノ如シ

第一年

解剖學 生理學 普通化學

第二年

醫科化學 藥劑學 病理解剖學

醫學理論并施術 診察學 外科術并治療

第三年

病理解剖學 治療學 產科學

醫學理論并施術 藥劑學 外科術

理事功程 卷二

五二

波士敦



毎年六月學季ノ終ニ於テ終年學ヒシ所ノ學術  
検査ヲ催スヘシ之ヲ定式試業ト云フ其外九月  
開校前一週間ト二月前期ノ終トニ於テ催スヘ  
シ試業ノ節數科ノ内少クモ一科ハ問題ヲ出シ  
テ之ニ對策ヒシム此ノ如ク年々ノ試業ヲ滯リ  
ナク濟マスト解剖立合人ヨリ體ノ三ヶ所ヲ誤リ  
ナク解體ヒシト云フ證書トアルニ非レハ等級  
ヲ得ヘカラス若シ試業ノ時一事件ヲ誤ルトキ  
ハ次ノ試業ニ於テ再ヒ其事ヲ果スヘシ  
醫學生ノ區別ハ右ノ如ク一年種二年種三年種

ノ三等ニ分ツカ故ニ始テ入ル者ハ必ス第三等  
ノ部ニ加ハルヘシ若シ一等二等ノ部ニ加ント  
欲スル者アレハ其前一等二等生ノナシタル同  
様ノ試業全題ヲ遂ルニ非レハ許サス○若シ三  
ヶ年滞在スルト能ハサル生徒アレハ一年内ニ  
三ヶ年分諸學科ノ内最モ好ム所ノ者ヲ擇ンテ  
入社習業スルトヲ得ヒシムヘシ尤常式ノ束脩  
金ヲ拂フヘシ又生徒ニ依リ吟味ヲ受クルトナ  
シニ從來醫學ヲ研窮シタル歲月ノ證書ヲ與フ  
ヘシ○凡ハ等級ヲ踏ント欲スル生徒ハ年齢ニ



十一歳以上ニシテ身持正レキ者ニ非レハ不可  
ナリ満三ケ年醫學ヲ學ヒシ證據アリ及ヒ少ク  
モ一ケ年ハ此學校ニ入社シタル者ニテ相當ノ  
試業ヲ經ルニ非レハ之ヲ得ヘカラス  
醫學生費用入社金五弗修業料一年二百弗一季  
百二十弗等級金三十弗ナリ  
醫學校書庫ノ書籍ヲ借ント欲スル者ハ金五弗  
ヲ預ケ置ヘシ斯クテ借用ノ書ヲ悉皆返納スル  
トキニハ右金ヲ生徒ニ返却スルナリ  
ボイルストン氏ノ「プライス」金ハ醫學ニ於テ最

擢テ論說ヲ為シタル者ニ之ヲ與フ此賞典ハ二  
年ニ一度催ス者ニテ其價二百弗ナルカ故ニ通  
用貨幣ニテモ記念錢ニテモ生徒ノ望ニ從テ  
之ヲ與フヘシ  
其他器械學校金石學校農學校等諸技術學校及  
附屬ノ天文臺アリ學費習業等ノ定例略前ニ記  
載シタル諸學校ト大不同ナケレハ之ヲ略ス但  
器械學ノ修業期限ハ四年ニシテ農學期限ハ三  
年トス三年ノ内初一年ハ器械學校ニ於テ學ヒ  
二年目ヨリ農學校ニ移ルナリ





大學校ニハ大抵「ヘルローレツプ」スコラレツ  
「トテニケ」ノ學社アリ「ヘルローレツプ」ハ其學  
校ニテ等級ヲ踏タル上等ノ學生中ヨリ選シス  
コラレシツプハ通常ノ生徒平日勉強スル者ヨ  
リ選ンテ社中ニ加ヘ大學校積金ノ内ヨリ一ケ  
年數百千金ヲ附與シテ其學費ヲ補助シ永ク大  
學ニ遊學セシムルモノナリ但ニ社共ニ職務ナ  
シ己レノ學業ヲ研窮スルノミ令ハル發ド的ド大學校  
ニ七十七種ノ「スコラレツプ」アリ年々扶助金  
ノ高四十弗乃至三百弗各異同アリ外ニ一千弗

ノモノ一ト二千弗ノモノ一アリテ上等ノ學生  
ニ與フ○當校社中ノ積金地所建物等ノ價ヲ除  
テ凡二百万弗餘毎年ノ歳入凡十八万弗ナリ



理事功程卷之二終

長百力三

卷二

空四

六下



一、凡有...  
 二、凡有...  
 三、凡有...  
 四、凡有...  
 五、凡有...  
 六、凡有...  
 七、凡有...  
 八、凡有...  
 九、凡有...  
 十、凡有...





